

補正予算5億7,987万円を増額 待機児童の解消に向けて 保育士の処遇改善へ

平成29年
12月定例会
12月22日～1月19日

主な議案と質疑

筑後市中央公民館条例の一部を改正する条例制定について

(賛成17 原案可決)

中央公民館(サンコア)の施設使用について、行政健全化方針の「受益者負担の適正化」の観点から、使用料やその納付にかかる方針等を見直すもの。

問 施設使用料の設定時の根拠と、改定後の考え方は。

答 当初の使用料は、近隣市町の類似施設を参考に設定したと聞いている。今回の改正は、使用料を概ね半額程度とし、受益者負担のあり方を見直すもの。現在、利用者の90%以上が減免となっている。近隣は、市町の事業は10割減免、社会教育や生涯学習の団体は5割減免で運用しているところが多い。改正により、

受益者の減免対象を、原則、市や市の機関、市内の小・中学校等に限定し、使用料を半額程度にすることで、広く浅く負担してもらおうという考えである。

問 他の施設はどう考えているのか。

答 社会教育関係の施設は、他に水田コミュニティセンター、窓ヶ原体育館及びサンクス筑後がある。受益と負担の公平性の観点から、見直しを検討している。



使用料が改定された筑後市中央公民館(サンコア)

筑後市歴代9人目の市長に就任された西田正治市長の初議会となった平成29年第16回定例会(12月定例会)。市長交代のため1月にまたがる会期となりました。

本定例会では、議案15件(人事案件1件含む)が提案され、すべて原案のとおり可決しました。

一般会計補正予算では、保育士の処遇改善等の委託料や扶助費などが増額されました。

また、中央公民館条例の一部改正では、中央公民館(サンコア)の施設使用料や減免対象が見直され、平成30年4月から新しい使用料となります。

平成29年度筑後市一般会計補正予算

(賛成17 原案可決)

平成29年度の予算総額を、5億7987万円増額し、198億1362万円とするもの。

主に、子どものための教育・保育給付等事業に要する経費について、保育士処遇改善のための新たな加算措置に扶助費8702万円、小規模保育事業施設が4施設増加したことに伴い、委託料1億421万円の増額。財産管理に要する経費について、公共嘱託登記等業務委託料268万円の増額等。

他に、人事院勧告に準じる職員給料、勤勉手当の増額、特別職(市長、教育長、議員)期末手当の増額のほか、障害者福祉サービス利用者等の増加に伴う扶助費等も盛り込まれた。

問 保育士処遇改善で加算された給料が、保育士

議案等に対する賛否状況 ※賛否が分かれた議案のみ掲載しています。

議案名	結果	大藪健介	石橋章	永松孝信	坂井久子	松竹卓生	辻義満	村上博昭	近藤佳治	富安伸志	北島一雄	貝田晴義	山下秀則	矢加部茂晴	中富正徳	坂本好教	田中親彦	貝田義博	弥吉治一郎	原口英喜	
議員報酬及び費用弁償等に関する条例改正	可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
市長、副市長及び教育長の給与に関する条例改正	可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
中央公民館条例改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成29年度一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

※原口英喜議長は採決には加わりません。 ○賛成 ●反対



今年度新設された小規模保育所(筑後どんぐり保育園)

個人にきちんと支払われ、たかどかかの確認方法は、内閣府と厚生労働省からの通知に基づいて、県の指導監督の時に、市も一緒に確認している。

問 養護老人ホーム紅葉園跡地について、財産処分の内容は。

答 跡地の一部は社会福祉協議会へ貸与し、残地については、普通財産の不要公共用地として売却処分する方向で検討している。

人事案件1件(同意)

平嶋和洋(八女市)(敬称略)



新人議員紹介

議会の議員の欠員に伴う補欠選挙で、石橋章氏が無投票で当選されました。任期は、平成29年11月20日から平成31年4月29日まで(前任議員の残任期間)です。

12月定例会の初日に、議席は2番と指定され、総務文教委員会とちくご市議会だより編集特別委員会に選任されました。

